

## 関わりを通して理解を深める社会科の授業づくり

神奈川県川崎市立中原小学校 教諭 藤沢 俊太

### 小学校6年 社会科 歴史にドキリ

#### 番組の特徴

学習指導要領に掲載されている歴史上の人物たちを紹介する番組。彼らが生きた時代や人物の動き、そして、今の時代にどんな影響を及ぼしてきたのかを授業での学習ポイントを押さえながら人物を深く掘り下げていく。

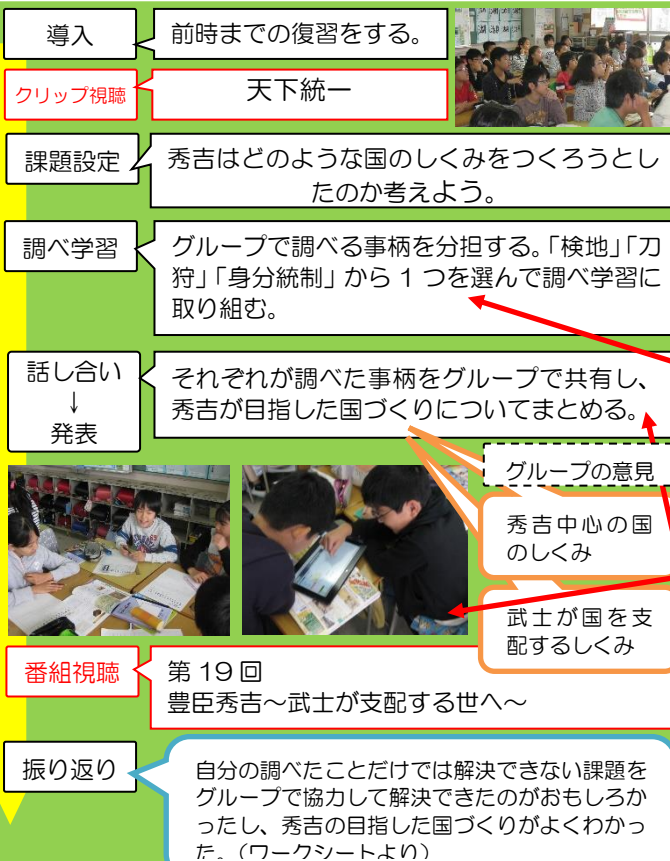
#### 研究の概要

番組とクリップの活用を通して、子どもたちの理解をより確かなものにするために本研究に取り組んだ。また、子どもたち同士の関わりを生むためにジグソー型学習を取り入れた。子どもたちに学習課題を設定するために用いた動画クリップや調べた事柄を確かめるために用いた番組とそれぞれ活用するねらいを明確にしたことで、子どもたちの学習の理解を確かなものにすることができた。

#### 授業デザイン

単元：全国統一への動き

目標：秀吉が行った政治を調べ、全国統一に向けて秀吉がどのような国づくりを目指したのか考え表現できる。



#### 番組や関連クリップの活用意図

##### 学習課題につなげるためのクリップの活用

授業の導入部分でクリップを活用した。クリップの視聴を通して子どもたちからあがった疑問を学習課題につなげることで、課題意識をもって調べ学習に取り組むことができる。

##### 子どもの理解をより確かなものにする

子どもたち自身が課題意識をもって調べた事柄が正しいものなのか確認するために授業の最後に番組を視聴する。自らが調べた情報と番組からの情報を関心をもって確かめることで理解を深めることができる。

#### 授業デザインにかかわる教師の工夫

##### ジグソー型学習の導入

グループ内での子どもたち同士の関わりを生むためにジグソー型学習を導入した。自らが調べた事柄を説明する活動を取り入れることで生まれた関わりを通して理解を深めたいと考えた。

##### 自分に合ったツールを用いた調べ学習

教科書の他に3種類の資料集、タブレットPCを準備し、調べ学習に用いるツールを選択できるようにすることで子どもたちの活動への意欲に繋がりたいと考えた。

##### 発表の条件を設定

グループでまとめた考えを発表する条件として「1分以内で簡潔に」と設定した。集めた情報の中から必要な情報を取捨選択させたいと考えた。

#### 生き生きと学ぶ子どもの姿

##### 子どもの自己評価から（ワークシートの振り返りから）

- 自分のグループの発表だけでなく他のグループの発表を聞いて、秀吉が武士と農民の違いをはっきりさせ、争いのない社会をつくらうとしたことがわかった。
- 自分で調べたことを友だちに伝えるのが難しかった。でも、友だちの考えを聞いて自分の考えとつながるところがあって嬉しかった。

##### 同僚の評価

- 1人で調べ学習を行うよりも調べることが明確なこと、すぐに誰かに聞ける環境があることは学習活動への安心感につながっている。(特別支援級担任)
- 導入の動画クリップの活用や調べるツールが多様にあることが子どもたちの調べることへの意欲につながっていた。

※同内容の実践をした他校でも「自分の考えを深められた」という項目で有意差が出ていた。(評価シート)

#### 実践を終えて〈行動宣言〉

実践後も継続的に番組やクリップの活用を続けている。「歴史にドキリ」では、番組を見続けることで「ドキリソング」に登場するキーワードを予想したり、番組最後の年号の語呂合わせを予想したりする姿が見られるようになった。学習面での知識理解だけでなく、情意面でも高まりや深まりが見られるようになったことには大きな成果を感じている。今後もこの実践を通して学んだことを活かし、番組やクリップを活用するねらいを明確にして授業づくりに取り組んでいきたい。